

### 38期生（平成31年4月入学） 授業内容計画

教科名【 公衆衛生学 】

教員名【 岡野 伊浩 】

講義No.	授 業 内 容
1	公衆衛生学の概要 公衆衛生の歴史などの概要について学ぶ
2	衛生統計 平均寿命や出生率の種類（合計特殊出生率や再生産率など）とそれぞれの意味について学ぶ
3	人口、寿命 人口動態統計と静態統計の違いとそれぞれの特徴。人口の変遷について学ぶ
4	感染症 感染症の分類と種類、発症要因について学ぶ
5	疫学 疫学の歴史と、各疫学調査について学ぶ
6	大気 大気汚染の原因、歴史、影響について学ぶ
7	水 上水道、下水道の普及率と取り決め、水質汚濁とその影響について学ぶ
8	室内 生活環境（気温、気湿、気圧、シックハウス症候群など）について学ぶ
9	労働衛生 各職業に特徴的な疾患とその原因、労働災害について学ぶ
10	母子衛生 乳幼児期の特徴的な施策について学ぶ
11	学校衛生 学校保健法と学校保健の内容について学ぶ。
12	老人衛生、精神衛生 老化と介護サービスについて学ぶ
13	保健行政、医療制度 国民皆保険制度や医療費について学ぶ
14	社会保障 生活補助や年金について学ぶ
15	学期末試験

- 到達目標：・健康の定義を知り、疾病予防との関連を結び付けることができる。  
 ・公衆衛生・予防医学の歴史を知り、社会福祉、社会保険など、現在の問題について関心を持てる。  
 ・環境における現状と問題点に関する知識を身につけ、環境について意欲的に考える姿勢を身につける。  
 ・各ライフステージの特徴と問題点を知り、それぞれの改善方法を考える力を身につける。

教科書名【 学生のための現代公衆衛生 南山堂 】

単位履修の方法と達成度の測定方法

授業の出欠と期末試験にて判定

- ・授業評価は出席回数が10回以上無ければ、D判定となり期末試験を受験できない。

- ・S・A・B・C・Dで判定（Dは不合格）

（総合獲得点数 S：90点以上 A：80～89点 B：70～79点 C：60～69 D：59点以下※不合格）

※D評価の者は、教員が必要と判断した場合には再試験を行うことができる。